

令和3年11月8日

6年生保護者の皆様

岸和田市立山滝小学校
校長 池辺 由美

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

平素は本校教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

5月に「令和3年度全国学力・学習状況調査」が実施され、本校でも6年生児童が参加し、その結果が学校に届きました。個人表にまとめられた一人ひとりの結果は個人番号と氏名一覧表を照合したうえで氏名を記入して本人に返却いたします。

本校ではこの調査の結果を受け、今後の学習指導の改善・充実や学校全体での取り組みに生かして学力向上に努めていきたいと考えています。今後とも本校の教育活動や子ども達のさらなる学力向上に向けてご理解とご協力をお願いいたしますと存じます。

<結果及び成果と課題について>

1. 学力に関する調査

国語

- ☆わりあいよくできていた問題
- ・思考にかかわる語句の使い方
 - ・文章の中での語句の活用

- ★難しかった問題
- ・文章をまとめ、要約するもの
 - ・自分の考えが伝わるように記述するもの

算数

- ☆わりあいよくできていた問題
- ・数量や項目間の関係の読み取り
 - ・直角三角形を利用した面積

- ★難しかった問題
- ・データの活用判断
 - ・数学的な考え方を問う問題、記述式の問題

<考察>

*成果

本校では朝学習の山滝タイムにおいて学習者用端末を利用した国算中心の反復学習や読書を行っています。また、漢字検定や基礎的な力やそれを活用する力を育成する問題に継続的に取り組んできました。

国語での漢字の読み書きや算数での数と計算領域での正答率が高かったことは、今までの取り組んだ漢字検定や、計算反復練習による成果が表れていると考えられます。

*課題

- ①国語では「関係付けてまとめて書く」といった記述の力に課題があります。日常の会話や日記作文指導、国語だけでなく各教科において、自分の考えをまとめて記述するノート指導や、読んで内容をつかみ箇条書きにまとめることができる力を伸ばせるような指導をしていきます。朝の学習にも記述式の問題を取り入れ、普段から記述になれるよう取り組みを加えています。
- ②算数については、問題をよく読み筋道を立てて考える、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて自分の考えを記述する活動やタブレットを用いて動画や写真など視覚的に理解が深まるような教具を取り入れた活動、子どもが主体的に学ぶための対話をメインとした課題解決を促す活動などを日々の授業の中でより工夫して導入していきます。

2. 勉強や生活の様子についての調査

国語と算数の勉強が大切である、という子の割合は90%以上という回答を得ています。しかし、好きかどうかという問いには、国語では40%、算数では80%という興味深いデータになりました。それに関連するデータとして学校以外で普段どれくらい読書をしますか、という問いに対し、70%近くの児童がほとんど読書をしないと答えています。それに対し、パソコンやスマホ、ゲーム機は全員の児童が触ると答えています。中には4時間以上も触れていると答える児童も40%という値を示しました。このことからスマホやパソコンなど視覚的に即座に反応するツールに対しては興味を持って長時間取り組めるのに対し、じっくりと思考を重ねながら取り組んでいく活動に対しては興味を持ちにくいということが言えるのではないかと考えます。

算数の計算問題のように技能を習得していれば瞬時に答えが導き出され、どんどん次に進めていくことができます。それに対し、国語の記述などじっくり時間をかけて言葉を選びながら文章を作っていく活動は難しく感じるのかもしれません。

また、家庭学習については、1時間以上すると答えた割合が比較的高く、習慣として身につけていることがわかりました。が、一方でどの教科においても自分の考えを説明したり文章に書くことが苦手と答えた児童が多くいました。テストにおいても正解率の低かったところです。上記の課題の欄でもお示したように、より対話的、主体的な授業改善に取り組めます。ご家庭においては普段の生活の中で子どもが自分で考え、その考えや意見を自分の言葉で表現することができるようご留意していただければと思います。

朝食を毎日食べる、毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている等、基本的な生活習慣については、規則正しく生活できている児童の割合は全国や大阪府の割合より少し低くなっています。それに伴って平日のテレビ視聴時間やゲームをする時間、携帯、インターネット等のゲームをする時間は平均より高いという結果が出ています。この傾向は年齢が上がるとともに増加していくことが予想されます。ご家庭でも普段からご留意いただいていると存じますが、基本的な生活習慣の維持と、また昨今問題になっているネットやSNSでのトラブルに巻き込まれないための指導について学校、家庭が情報交換しながら子ども達の健全な育成に努めていきたいと思っております。保護者の皆様には、今後ともご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

